

一般向け（中学生以上対象）

みんなできり組もうSDGs



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

静岡市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2022年3月修正

- 1 SDGsとは
- 2 17の目標（ゴール）について
- 3 なぜSDGsに取り組むのか
- 4 わたしにできるSDGs

1 SDGsとは

皆さん、SDGsという言葉聞いたことがありますか？

このロゴ？アイコン？マーク？見たことありますか？

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



最近、このバッジをつけている人を見かけたことはありませんか？

1 SDGsとは

サステイナブル デベロップメント ゴールズ

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の頭文字と最後のsを取ったもので、**エス・ディー・ジーズ**と読みます。

2015年9月、ニューヨーク国連本部で開催された国連サミットで、国際社会が抱える課題を2030年までに解決するために、**全ての国連加盟193カ国が一致して採択した17の目標(ゴール)**のことです。

「**誰ひとり取り残さない**」という理念のもと、SDGsでは、ジェンダー平等、気候変動、海洋汚染等の世界的課題について、今を生きる私たちだけでなく、子、孫といった、**その次の世代も住み続けられる地球のことを考えた取組**が求められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 SDGsとは

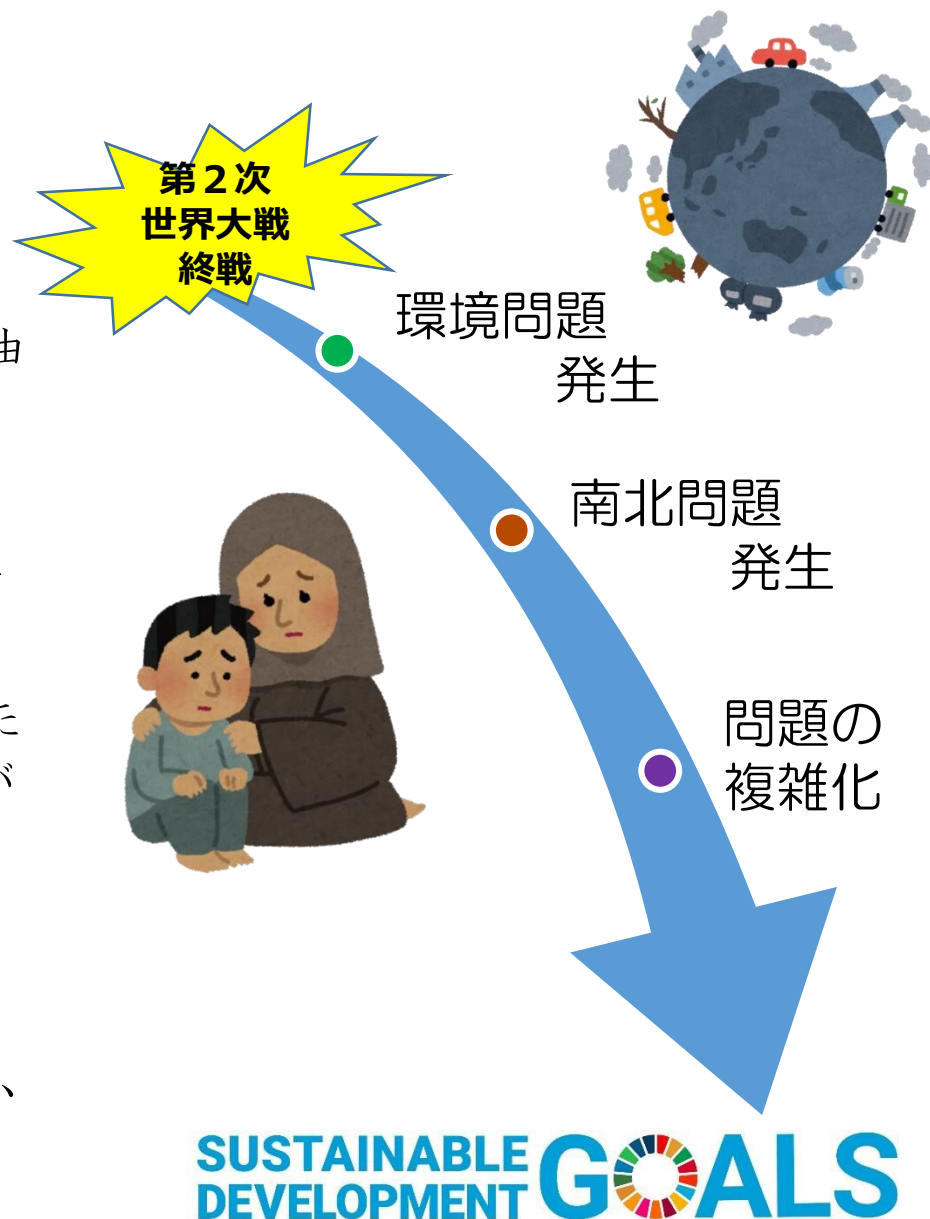
そもそも、なぜSDGsが採択されたのか。

1945年の第二次世界大戦終結後、石油が使われるようになった結果、大気汚染や森林破壊など、**環境問題**が発生しました。

1960年代になると、植民地支配を受けていた国では、安価で安定した生産ができない一次産品の生産が多く、工業化を進めた貿易先進国と開発途上国との経済格差が広がり、いわゆる**南北問題**が発生しました。

以降、世界ではテロやあらゆる差別など、環境問題、南北問題に加えて新たな問題・課題が発生し、問題が複雑化したため、

すべての問題を解決するために、SDGsが採択されました。



2 17の目標（ゴール）について

さて、皆さんは、MDGsという言葉を知っていますか？

SDGs採択以前は、MDGsという目標がありました。

しかし、MDGsは開発途上国向けの目標を先進国主導で策定し、途上国の意見が反映されていないという問題点がありました。

MDGs

(Millennium Development Goals)

- 2001年～2015年の目標
- 8ゴール・21ターゲット
- 開発途上国中心の目標
- 先進国主導で策定



SDGs

(Sustainable Development Goals)

- 2016年～2030年の目標
- 17ゴール・169ターゲット
- 開発途上国、先進国両方の目標
- 国連全加盟国が一致して採択



2 17の目標（ゴール）について

SDGsの17の目標（ゴール）は、MDGsの反省も踏まえ、SDGsでは、MDGsで達成できなかった目標と先進国にも関わる新たな目標を追加し、全ての国を対象としています。

MDGsを深掘りした目標
(例：極度の貧困⇒あらゆる貧困)



先進国にも関わりの深い新たな課題



1 SDGsとは

17の目標には、より具体的な目標を示した**169のターゲット**と**247の指標**が設定されています。例えば、目標3とターゲットについて見てみましょう。



目標 3	すべての人に健康と福祉を
ターゲット 3.3	2030年までに、エイズ、結核、マalaria及び 顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及び その他の感染症に対処する

今、世界的な危機となっている**新型コロナウイルス感染症**に対処するため、世界で行なわれている

- 製薬会社によるワクチン・治療薬の開発
- 自治体・医療機関によるワクチン接種
- 医療機関による感染者の治療は、

まさにSDGsの達成のために、必要な取組であるといえます。

目標達成のためには、**具体的なターゲットと達成目安となる指標を意識した取組を行うことが必要**になります。



2 17の目標（ゴール）について

目標、ターゲット、指標の一部を紹介します。



目標1	貧困をなくそう
1.1	2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。
1.1.1	国際的な貧困ラインを下回って生活している人口の割合(性別、年齢、雇用形態、地形的ロケーション(都市/地方)別)



目標2	飢餓(きが)をゼロに
2.1	2030年までに、飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。
2.1.1	栄養不足蔓延率



目標3	すべての人に健康と福祉を
3.1	2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。
3.1.1	妊婦死亡率
3.1.2	専門技能者の立ち合いの下での出産の割合

2 17の目標（ゴール）について



目標4	質の高い教育をみんなに
4.3	2030年までに、全ての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
4.3.1	過去12ヶ月に学校教育や学校教育以外の教育に参加している若者又は成人の割合(性別ごと)



目標5	ジェンダー平等を実現しよう
5.1	あらゆる場所における全ての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
5.1.1	性別に基づく平等と差別撤廃を促進、実施及びモニターするための法律の枠組みが制定されているかどうか

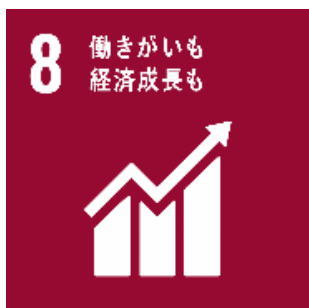


目標6	安全な水とトイレを世界中に
6.1	2030年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。
6.1.1	安全に管理された飲料水サービスを利用する人口の割合

2 17の目標（ゴール）について



目標7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
7.1	2030年までに、安価かつ信頼できるエネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。
7.1.1	電気を受電可能な人口比率
7.1.2	家屋の空気を汚さない燃料や技術に依存している人口比率



目標8	働きがいも経済成長も
8.1	各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。
8.1.1	一人当たりのGDPの年間成長率



目標9	産業と技術革新の基盤をつくろう
9.1	全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。
9.1.1	全季節利用可能な道路の2km県内に住んでいる地方の人口の割合
9.1.2	旅客と貨物量(交通手段別)

2 17の目標（ゴール）について



目標10	人や国の不平等をなくそう
10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を推進する。
10.2.1	中位所得の半分未満で生活する人口の割合(年齢、性別、障害者別)



目標11	住み続けられるまちづくりを
11.1	2030年までに、全ての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。
11.1.1	スラム、インフォーマルな居住地及び不適切な住宅に居住する都市人口の割合



目標12	つくる責任つかう責任
12.3	2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。
12.3.1	a)食料消費指数及び b)食料廃棄指数

2 17の目標（ゴール）について

13 気候変動に
具体的な対策を



目標13	気候変動に具体的な対策を
13.1	全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性レジリエンス)及び適応の能力を強化する。
13.1.1	10万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接的負傷者数

14 海の豊かさを
守ろう



目標14	海の豊かさを守ろう
14.1	2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。
14.1.1	沿岸富栄養化の指標及び浮遊プラスチックごみの密度

15 陸の豊かさ
も守ろう



目標15	陸の豊かさも守ろう
15.3	2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。
15.3.1	土地全体のうち劣化した土地の割合

2 17の目標（ゴール）について

16 平和と公正を
すべての人に



目標16	平和と公正をすべての人に
16.1	あらゆる場所において、全ての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。
16.1.1	10万人当たりの意図的な殺人行為による犠牲者の数(性別、年齢別)
16.1.2	10万人当たりの紛争関連の死者数(性別、年齢別)

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



目標17	パートナーシップで目標を達成しよう
17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。
17.17.1	インフラのために官民パートナーシップにコミットしたUSDルの総額

17の目標

169のターゲット

247の指標

3 なぜSDGsに取り組むのか

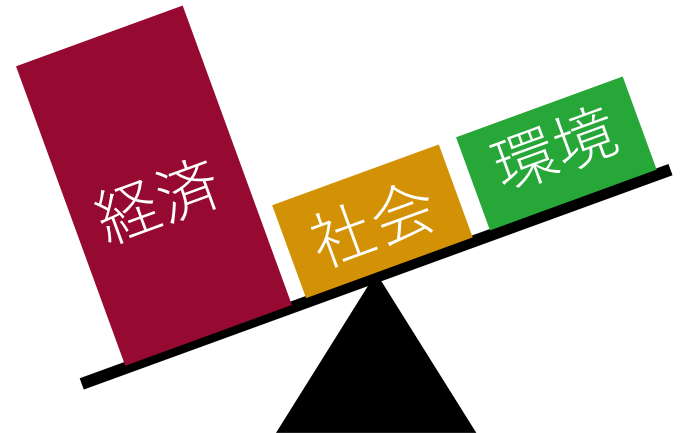
では、皆さん想像してみましよう。

世界各国で環境や教育・福祉などの問題
に向き合わず、経済重視の政策を行ない続
けたとしたら、私たちの生活はどのようになるの
でしょうか。

仕事が増え、雇用率が上がり、収入が増えて**経済的な豊かさ**は得られるかもしれませんが。

一方で、過重労働による**健康への影響**、
就労できない人との**格差拡大**、森林・海洋
開発による**環境破壊**などの様々な問題を引
き起こすおそれがあります。

結果、私たちの生活は立ち行かなくなり、
そのことに気づいたときには、**もう元には戻れ**
ないかもしれません。



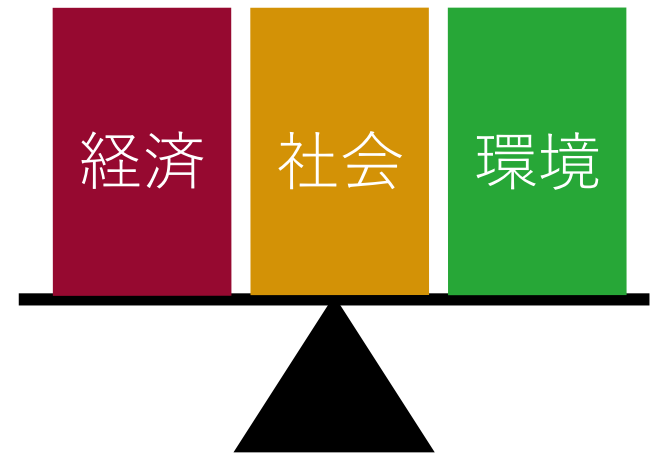
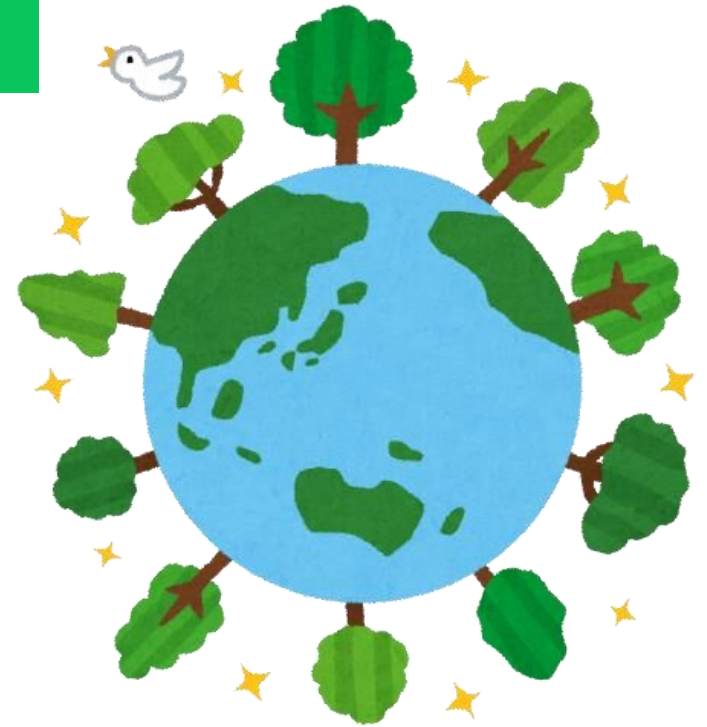
3 なぜSDGsに取り組むのか

元に戻れなくなってしまう前に、経済、環境、社会の調和が保たれるような取組を進め、みんな未来をつないでいくことが**今の時代を生きる私たちに求められています。**

経済開発・成長しながら、環境が保護され、社会的な弱者の人権も守られた状態が続けば、私たちの生活は維持され、子や孫、その次の世代まで続いていくことでしょう。そのような世界にするためには、一人ひとりが行動を起こしていかなければなりません。

SDGsは他人事ではありません。

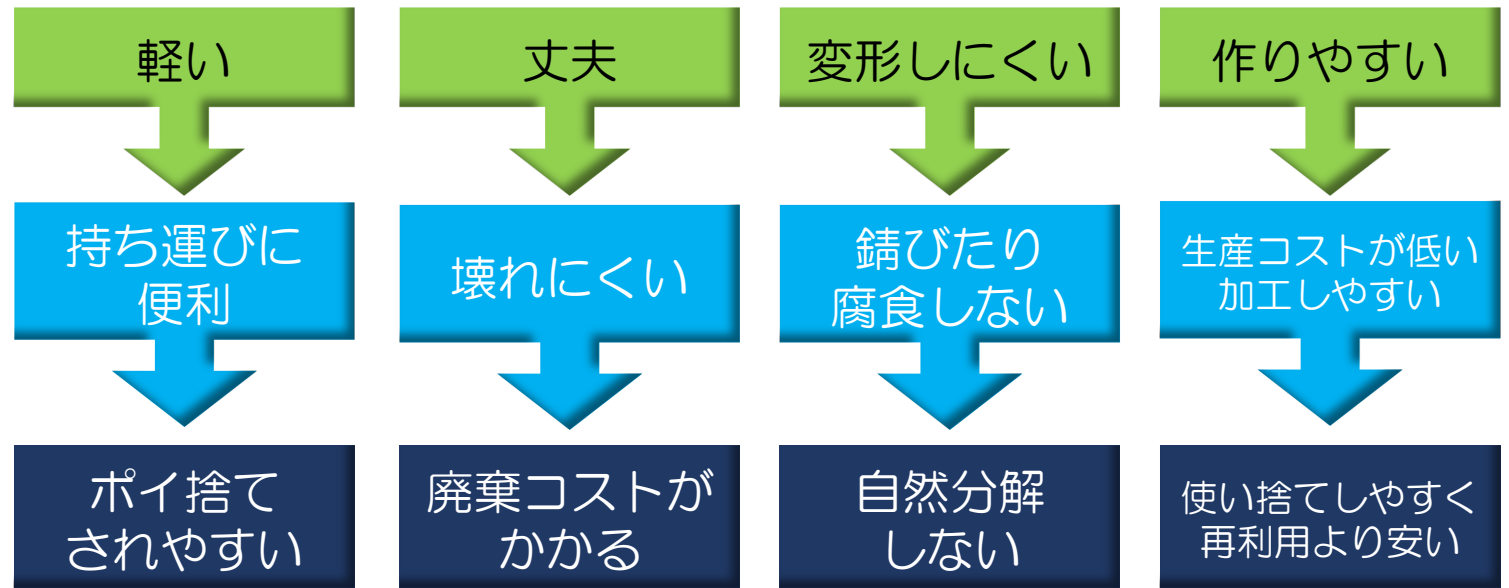
私たち一人ひとりの生活に結び付いているからこそ、世界で取り組む目標となっています。



3 なぜSDGsに取り組むのか

では、身近なものでSDGsを考えてみましょう。

これまで、「ストロー」はプラスチックで作られてきました。



プラスチックストロー自体はとても優れた性質を持つ製品ですが、環境汚染に繋がりやすい性質も持ち合わせています。

プラスチックストロー以外にも、ビニール袋やペットボトルなどプラスチック製品は多く存在していますが、正しく処分されないと、どのような問題を引き起こすのでしょうか。

3 なぜSDGsに取り組むのか

正しく処分されず、簡単に捨てられ、自然分解せず、自然界に残り続けたプラスチックごみが海を漂流し、様々な影響を与えています。

○生態系を含めた海洋環境への影響

○船舶航行への障害

○観光業、漁業への影響

○沿岸域居住地域への影響



プラスチックごみは、海に住む動物たちにも影響を与え、豊かな自然や住環境の悪化(環境)、観光業や漁業へのダメージ(経済)、環境悪化による健康被害(社会)を引き起こしています。

このような問題が広く知られるようになると、世界におけるプラスチック使用に変化が現れるようになり、プラスチックストローを提供していた大手コーヒーチェーン店では、プラスチックストローの廃止、紙ストローへの切替を表明しました。

3 なぜSDGsに取り組むのか

結果、環境保護の意識が高まり、今、世界では環境を意識した商品・サービス提供の見直しの動きが進んでいます。



写真:紙ストロー



写真:金属製ストロー













写真:自然分解素材ストロー

他にも、米粉ストロー、パスタストロー、竹ストロー、草ストローなど、代替素材のストローが開発されています。それぞれの製品には、強みもあれば弱みもあります。だからこそ競争が生まれ、市場が活性化し、企業にとってはビジネスチャンスにつながっています。

3 なぜSDGsに取り組むのか

1つ、忘れないでいただきたいことですが、そもそも、プラスチックごみの問題は、製品をつくる会社が悪いわけではありません。一番の問題は、**ポイ捨てや不法投棄されてしまうこと**です。

私たち人間が作りだした人工物は、自然界には存在しないものであり、自然に無くなるわけではありません。作った責任も、使った責任も、全て人間が負わなければなりません。**一人ひとりが当事者意識を持ち、改善に取り組む**ことが、SDGsの達成につながります。

	ストロー製造会社	飲食店	消費者
役割	<ul style="list-style-type: none"> ○環境・社会問題解決を意識したストローを開発・製造すること ○正しい廃棄をすること、促すこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮されたストローを採用すること ○正しい廃棄をすること、促すこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮されたストローを使用しているお店を選択すること ○正しい廃棄をすること
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ○他企業との差別化、市場拡大 ○企業価値の向上 ○事業を通じたSDGs達成への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ○他企業との差別化、顧客の取込 ○企業価値の向上 ○事業を通じたSDGs達成への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ○普段の行動を通じたSDGs達成への貢献
主な関係目標	   	  	  

4 わたしにできるSDGs

世界で解決を目指すということは、国も、自治体も、企業も、団体も、地域も、そして、私たち個人にも関係があります。しかし、「1人だけ行動しても意味がないのでは?」、「1人で全部の目標について取り組みなんて出来ないよ!」と思う方もいるかもしれません。確かに、1人だけで色々なことに取り組むのは時間も、労力も、資金も必要です。

しかし、普段の生活の中で、簡単に取り組める行動から始めることができたらどうでしょうか。きっと、「こんな簡単なことでいいの?」、「なんだ、今まで取り組んでたのか!」と思う方がいるのではないのでしょうか。生活の中からSDGsの取組を見つけて、行動してみませんか?

「1人の100歩」より「100人の1歩」
みんなでSDGsに取り組んでいきましょう!



4 わたしにできるSDGs

女性だから、男性だからという
視点で物事を判断しない



うがい、手洗いをして感
染症対策をしよう



フードバンクにつ
いて知ってみよう！
寄付してみよう！



障害がある方が困っ
ていたら、声をかけて
みよう



電気をつけっぱなし
にしないようにしましょう



水を大切に、
きれいに使おう



4 わたしにできるSDGs



防災訓練に参加しよう！



暴力をふるったり、誹謗中傷はやめよう。

16 平和と公正をすべての人に



美化活動に参加しよう！

11 住み続けられるまちづくりを



森林整備活動への参加や寄付をしよう！

15 陸の豊かさも守ろう



食べる分だけ買い物して、食品ロスをなくそう！



12 つくる責任 つかう責任



リサイクルできるゴミはリサイクルへ



ビニール袋はもらわない・捨てない！マイバッグで買い物しよう！

14 海の豊かさも守ろう



わたしにできるSDGsを見つけて、取り組んでみましょう！